

① 復旧を支えたみんなの力



耳成南小学校(奈良県橿原市)の児童会から届いた励ましのはがき(舞鶴市加佐分室)



全国から寄せられた支援物資には温かい心も添えられていました(舞鶴市)

ボランティアの方にもらった勇気とあたたかさ

岡田保育園 大石 敦子さん



台風が去って、保育園の様子を見に来ましたが、建物全体が泥まみれ。絶望的な気持ちで、園庭に物を運び出すことから片付け始めましたが、ふと気がつけば、どんどんボランティアの方の数がふくれ上がり、100人もの方が2日間懸命に作業していただきました。落ち込みがちになる私たちの気持ちを跳ね飛ばすような勇気と温かさをボランティアの方々からいただきました。2週間後、保育が再開できたときは言葉にできないくらいうれしかったです。



机やピアノも泥だらけになった岡田保育園(舞鶴市)



全力で救出・救助にあたってくれました

地元消防本部、消防団をはじめ、京都府警、自衛隊、海上保安本部など、多くのみなさんが協力して全力で救出・救助活動を行ないました。

お話を聞いてきました



人命救助、給水支援などに活躍

～陸上自衛隊 福知山駐屯地第七普通科連隊～



当時宮津市連絡幹部・大津町作業担当 宇高 政彦さん
当時警備幹部防災担当 伊藤 豊さん
当時広報室 塩崎 博文さん



孤立した地域へ生活物資を運ぶヘリコプター

増水したところはボートで救助に

20日午後8時55分、宮津市滝馬地区での土砂災害への人命救助ということで40名が出動。警察に先導してもらい、京都縦貫自動車道から宮津市内に向かったのですが、道路が浸水していて前進できない。水が引くまで待機し、ようやく午前1時ごろ現地に到着して救出活動を行いました。また河川では水没した車の中に閉じ込められていた人をボートで救出するなど地域をくまなく探し、人命救助にあたりました。翌日夕方には宮津市、舞鶴市、旧大江町の各地の復旧、給水支援、ヘリコプターによる食糧物資輸送を行いました。この間、人命救助と給水支援等に携わった自衛官は延べ435名、305tを給水。道路復旧に携わったのは延べ455名です。89名の人命を救助しました。



みんなで助け合う大切さ。少しずつ、だけど着実に広がりを見せているよ

被災地域への派遣や受入などの調整をしたり、活動を希望する方に情報を提供したりするんだって

●災害ボランティアセンター●

平成16年の台風第23号災害をきっかけとして、翌17年5月、京都府など21の団体と、民間の方々などが協力し、スムーズにボランティア活動が行われるよう「京都府災害ボランティアセンター」が設置されました。



現地災害ボランティアセンターの設置訓練

コラム 自主防災ネットワーク〈進む地域のネットワークづくり〉

福知山市では、平成18年9月に災害ボランティアに参加するいろんな団体がネットワーク連絡会を発足し、災害時の活動の連携や日頃から高齢者などへの見守り活動にも取り組んでいます。また、綾部市では、平成20年2月、地域住民の自治会で作る自主防災組織と、自主防災組織ができていない自治会を相互に結ぶ「ネットワーク会議」がスタートし、地域の人達が素早く助け合えるよう、災害に備える情報の共有、防災リーダーの育成、合同の防災訓練などに取り組み、行政と連携した、地域の絆を強める行動が進んでいます。